

平成 29 年度 事業報告書

〔 平成 29 年 4 月 1 日から
平成 30 年 3 月 31 日まで 〕

公益財団法人 神奈川県下水道公社

平成 29 年度 事業報告書

1 概要

当社は、下水道公社定款に基づき、流域下水道及び流域関連公共下水道の維持管理に関する業務のほか、下水道知識の普及・啓発活動及び下水道技術に関する調査研究を行い、県及び市町の下水道事業に協力し、もって県民の健康で快適な生活環境の向上と公共用水域の水質保全に寄与し、公衆衛生の向上及び環境保全を目的として事業を行いました。

事業の実施にあたっては、「公益財団法人神奈川県下水道公社第 5 期経営改善計画」に基づき、効率的な運営に努めると共に、より一層の経費の削減に取り組みました。

2 受託事業

神奈川県が設置する流域下水道の処理施設の運転操作等維持管理業務及び流域関連公共下水道の水質分析等技術的業務を受託し、創意と工夫をもって主体的に業務に取り組み、県民の健康で快適な生活環境の向上と公共用水域の水質保全に寄与するため、次の事業を行いました。

(1) 流域下水道の下水処理等維持管理事業

神奈川県から相模川及び酒匂川流域下水道の下水処理等維持管理業務を受託し、下水処理場施設、幹線管渠及び関連するポンプ場施設等の維持管理を行いました。

ア 主な維持管理施設等の概要

平成 29 年度の主な下水道維持管理施設等は、次表のとおりです。

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

処理場 施設・設備等	相模川流域下水道		酒匂川流域下水道	
	四之宮	柳 島	酒 匂	扇 町
敷 地 面 積	26.9 ha	19.6 ha	9.8 ha	7.0 ha
水 処 理 施 設 (施設能力 日最大)	6 系列 (322,800m ³ /日)	9 系列 (539,100m ³ /日)	3 系列 (108,000m ³ /日)	2 系列 (56,480m ³ /日)

処理場 施設・設備等	相模川流域下水道		酒匂川流域下水道	
	四之宮	柳 島	酒 匂	扇 町
汚泥脱水設備	ベルト 4台 遠 心 2台 スクリュウ 1台	遠 心 3台 ロータリー 1台 スクリュウ 3台	スクリュウ 4台	ベルト 2台 スクリュウ 1台
汚泥焼却設備 (処理能力 計)	3基 (320 t / 日)	4基 (660 t / 日)	1基 (60 t / 日)	2基 (60 t / 日)
幹 線 管 渠	37,960 m	89,600 m	26,920 m	19,340 m
ポ ン プ 場	2 箇所	6 箇所	1 箇所	—
上 部 利 用 施 設	四之宮ふれあい広場 5.25 ha	※茅ヶ崎市へ 管理移管	酒匂きらり広場 1.3 ha	扇町しらさぎ広場 1.2 ha

(注) 汚泥脱水設備欄に記載している「ベルト」等の名称は、次の脱水機の種類を表す。

- ・「ベルト」：ベルトプレス脱水機
- ・「遠 心」：遠心脱水機
- ・「スクリュウ」：圧入式スクリュウプレス脱水機
- ・「ロータリー」：回転加圧脱水機

イ 下水処理

(ア) 流入下水道

平成 29 年度の相模川及び酒匂川流域下水道の流入下水道量は、次表のとおりです。

流 域	下水処理場 (管理センター)	流入下水道量 (m ³)		増減 (前年比%)
		平成 29 年度実績	平成 28 年度実績	
相模川	四之宮	84,753,740 (232,200)	83,647,270 (229,170)	1,106,470 (101.3%)
	柳 島	152,076,450 (416,650)	147,680,330 (404,600)	4,396,120 (103.0%)
	計	236,830,190 (648,850)	231,327,600 (633,770)	5,502,590 (102.4%)
酒匂川	酒 匂	31,749,730 (86,990)	31,386,370 (85,990)	363,360 (101.2%)
	扇 町	14,840,350 (40,660)	15,315,480 (41,960)	△475,130 (96.9%)
	計	46,590,080 (127,650)	46,701,850 (127,950)	△111,770 (99.8%)
合 計		283,420,270 (776,500)	278,029,450 (761,720)	5,390,820 (101.9%)

(注) 流入下水道量は年間の数量で、() 内の数字は日平均水量を示す。

(イ) 流入水及び放流水の水質測定結果

流入下水を処理するにあたっては、標準活性汚泥法により適切に処理し、全て法で定める排水基準値以内で処理することができました。

a 相模川流域下水道水質測定結果

処理場 主な項目		四之宮		柳島		排水基準
		流入水	放流水	流入水	放流水	
BOD (mg/L)	平均	180	4.6	200	3.1	四之宮 25 (20) 柳島 25
	最大	260	6.1	220	4.4	
	最小	150	3.3	170	2.1	
COD (mg/L)	平均	100	9.8	97	9.0	四之宮 25 柳島 25 (20)
	最大	110	11	100	9.8	
	最小	87	9.0	83	7.7	
SS (mg/L)	平均	190	2.7	204	2.6	70 (50)
	最大	222	3.5	224	3.4	
	最小	172	1.6	190	1.5	
pH	平均	7.3	6.7	7.4	6.7	5.8~8.6
	最大	7.5	6.8	7.5	6.7	
	最小	7.2	6.7	7.2	6.6	
大腸菌群数 (個/cm ³)	平均	240,000	42	310,000	71	3,000
	最大	580,000	120	490,000	180	
	最小	130,000	9	130,000	37	

(注)・BODは生物化学的酸素要求量、CODは化学的酸素要求量、SSは浮遊物質、pHは水素イオン濃度(水素指数)を表す。

・排水基準は、水質汚濁防止法又は神奈川県生活環境の保全等に関する条例の基準値で、()は日間平均値(1日の平均の値)を示す。

b 酒匂川流域下水道水質測定結果

主な項目		酒匂		扇町		排水基準
		流入水	放流水	流入水	放流水	
BOD (mg/L)	平均	180	2.8	130	3.1	25 (20)
	最大	200	4.5	150	4.3	
	最小	130	1.8	110	2.2	
COD (mg/L)	平均	89	7.8	81	10	25
	最大	100	9.0	88	12	
	最小	71	6.5	71	8.6	
SS (mg/L)	平均	182	1.0 未満	148	2.7	70 (50)
	最大	238	1.4	163	4.3	
	最小	130	1.0 未満	127	1.6	
pH	平均	7.4	6.6	7.5	6.9	5.8~8.6
	最大	7.6	6.6	7.6	7.0	
	最小	7.3	6.5	7.4	6.8	
大腸菌群数 (個/cm ³)	平均	180,000	36	100,000	140	3,000
	最大	420,000	110	130,000	190	
	最小	96,000	5	81,000	61	

(注) 相模川流域下水道の注記に同じ。

ウ 汚泥処理

(ア) 汚泥等発生量

汚泥等は、次表のとおりです。

流域	下水処理場 (管理センター)	汚泥等発生量 (t/年)		増減 (前年比%)
		平成 29 年度実績	平成 28 年度実績	
相模川	四之宮	56,796	55,421	1,375 (102.5%)
	柳 島	124,874	126,391	△1,517 (98.8%)
	計	181,670	181,812	△142 (99.9%)
酒匂川	酒 匂	19,530	20,255	△725 (96.4%)
	扇 町	8,443	9,046	△603 (93.3%)
	計	27,973	29,301	△1,328 (95.5%)
合 計		209,643	211,113	△1,470 (99.3%)

(注) 汚泥等は、脱水汚泥、沈砂・スクリーンかすを表す。

(イ) 焼却灰等処分量

焼却灰等は、全量資源として有効利用しました。

流域	下水処理場 (管理センター)	焼却灰等処分量 (t/年)		増減 (前年比%)
		平成 29 年度実績	平成 28 年度実績	
相模川	四之宮	1,673	1,517	156 (110.3%)
	柳 島	3,144	3,405	△261 (92.3%)
	計	4,817	4,922	△105 (97.9%)
酒匂川	酒 匂	1,162	909	253 (127.8%)
	扇 町	192	212	△20 (90.6%)
	計	1,354	1,121	233 (120.8%)
合 計		6,171	6,043	128 (102.1%)

(注) 焼却灰等は、乾灰、加湿灰、焼却沈砂、脱水汚泥を表す。

エ 放射能対策

焼却灰等の放射能濃度や処理場敷地境界線の放射線量を測定し、適正な管理を行いました。

オ 施設等の管理

主要な機器設備（約 8,500 点）や幹線管渠は、定期的な健全度診断や調査結果に基づき、適正な管理を行いました。

カ 機器設備の点検・補修等

重要な機器設備は、精密点検基準等に基づき、計画的に修繕を行いました。また、日常点検等により状態を把握し、適切に補修を行いました。

キ 危機管理対応

「神奈川県下水道公社業務継続計画（BCP）」に基づき訓練を実施し、危機管理体制の充実に努めました。

ク 環境対策

焼却炉排ガス等測定調査を実施するとともに、処理場周辺への臭気の影響及び放流水質の安全性を調査し環境保護に努めました。

（ア）焼却炉排ガス等測定調査

大気汚染防止法に基づき調査を行い、法令を遵守していることを確認しました。

（イ）敷地境界線等臭気測定調査

処理場周辺の臭気調査を行い、施設の健全なる管理に努めました。

< 敷地境界等臭気調査結果 >

流域	下水処理場 (管理センター)	調査地点数	臭気指数 (最小～最大)	悪臭防止法 規制基準値
相模川	四之宮	7 地点	10 未満	15
	柳 島	6 地点	10 未満	15
酒匂川	酒 匂	4 地点	10 未満	15
	扇 町	4 地点	10 未満	15

(注) 臭気指数の「10 未満」は定量下限値未満を表す。

（ウ）クリプトスポリジウム測定調査

人体に影響を及ぼす恐れのあるクリプトスポリジウムについて、流入水及び放流水を調査した結果、含まれていないことを確認しました。

ケ 施設見学

小学校、自治会、地域の方々などの施設見学を随時受けました。

施設の案内とともに、当社が作成したパワーポイントや下水道 PR 用 DVD などを活用し、下水道の役割などを説明しました。

<処理場施設見学者内訳>

(人)

流 域	下水処理場 (管理センター)	行政機関	学 生		一 般	団 体	計
			小学生	その他			
相模川	四之宮	95 (89)	379 (211)	20 (30)	78 (26)	11 (16)	583 (372)
	柳 島	12 (246)	1,128 (938)	182 (170)	74 (6)	66 (40)	1,462 (1,400)
酒匂川	酒 匂	55 (93)	321 (284)	37 (0)	24 (32)	2 (40)	439 (449)
	扇 町	17 (0)	79 (403)	2 (1)	22 (21)	27 (0)	147 (425)
合 計		179 (428)	1,907 (1,836)	241 (201)	198 (85)	106 (96)	2,631 (2,646)

(注) () は、前年度の見学者数

コ 下水道ふれあいまつりの開催

処理場施設見学、下水道学習室、地域の方々による演奏・踊りなど、多くの方々に参加していただき、親しまれる下水道となるよう「下水道ふれあいまつり」を開催しました。

<下水道ふれあいまつり開催結果>

開催年月日	平成 29 年 10 月 28 日 (土)	
主催・共催	主催 神奈川県、下水道公社 共催 相模川及び酒匂川流域関連市町	
開催場所 ・来場者数	相模川流域 四之宮管理センター (四之宮ふれあい広場)	424 人 (柳島：1,036 人)
	酒匂川流域 扇町管理センター (扇町しらさぎ広場)	505 人 (酒匂：764 人)
計		929 人 (1,800 人)

(注) () は、前年度の来場者数

サ 水質規制支援業務

特定事業場等の監視・指導業務を行う流域関連市町及び排水基準を守るための水質管理を行う事業場の担当者を対象に研修会を実施しました。

また、流域関連市町が行う特定事業場等の施設検査や水質異常時の原因究明調査の技術支援 (アシスト下水道) を行いました。

(ア) 研修会の開催

a 水質規制担当者特別研修会

<水質規制担当者特別研修会実施状況>

開催日	平成29年12月6日(水)
開催場所	四之宮管理センター
対象者	県及び流域関連市町の水質規制担当職員
受講者数	22名
内容	(1) 採水に関する研修 (2) 水質異常時の対応等について (3) 水質異常時の事例報告 (4) 事業場排水指導指針と解説に関する講義 (5) 水質規制に関するディスカッション

b 事業場排水担当者研修会

<事業場排水担当者研修会実施状況>

開催日	平成29年11月15日(水)
開催場所	四之宮管理センター
対象者	相模川流域左岸処理区の実業場排水処理担当者
受講者数	64名
内容	(1) 下水処理場での処理の限界について (2) 下水道法の概要について (3) 施設検査等の概要について (4) 下水処理場の現地見学について

(イ) 水質規制技術支援業務(アシスト下水道)

<技術支援業務実施状況>

(件)

流域名	水質分析等	立入同行	相談・提案等	施設検査	合計
相模川	7	3	31	21	62
酒匂川	19	5	27	13	64
合計	26	8	58	34	126

(ウ) パンフレットの作成及び配布

公共下水道を使用する場合の排水に係る水質規制のあらましや届出などについて、解りやすく説明したパンフレットを作成し、公共下水道を使用する事業者の皆様を活用していただけるよう、事業者と流域関連市町に配布しました。

(2) 下水道の水質分析等受託事業

相模川及び酒匂川流域に関連する市町から特定事業場等の下水の水質分析を受託しました。

＜特定事業場等水質調査業務受託概要＞

区分 年度 流域	受託市町数			調査箇所数			水質分析数		
	29 A	28 B	差異 A-B	29 A	28 B	差異 A-B	29 A	28 B	差異 A-B
相模川流域 関連市町	7	8	Δ1	114	118	Δ4	7,480	7,966	Δ486
酒匂川流域 関連市町	6	6	0	37	43	Δ6	3,052	3,110	Δ58
計	13	14	Δ1	151	161	Δ10	10,532	11,076	Δ544

3 自主事業

多くの方に下水道への理解と関心を深めていただくための普及・啓発活動及び下水道関係者の知識や技術力の向上を目的とした研修を行いました。

また、維持管理技術の向上と運営の効率化を図るため、調査研究を行いました。

(1) 下水道知識普及啓発事業

ア 下水道作品コンクールの実施

流域関連市町の小学校4年生を対象として、作文、ポスター、書道の作品を募集するコンクールを実施しました。

応募された作品の中から入賞者を表彰するとともに、入賞作品の広報への活用を行いました。

＜下水道作品コンクール表彰式＞

- ・開催日 : 平成30年2月10日(土)
- ・開催場所 : 厚木市文化会館

＜作品応募・入賞数＞

区分	作文	ポスター	書道	計	備考
応募数	104 (85)	1,065 (750)	3,338 (3,315)	4,507 (4,150)	参加学校数: 166 (170) 参加市町数: 21 (21)
入賞数	10	20	40	70	

(注) () は、前年度の実績数

イ 下水道教室の実施

(ア) 下水道出張教室

流域関連市町の小学校へ公社職員が出向き、4年生の授業の中で下水道の果たす役割や仕組みなどを説明するとともに、顕微鏡で汚れた水をきれいにする微生物の観察をしました。

<下水道出張教室実施結果>

学校数	クラス数	人数
22校 (21校)	51クラス (51クラス)	1,558人 (1,675人)

(注) () は、前年度の実績数

(イ) 夏休み下水道教室

流域関連市町在住の方を対象として、下水道の果たす役割や仕組みなどの説明、顕微鏡で汚れた水をきれいにする微生物の観察、水の汚れ具合を簡単に見分ける簡易的な水質実験及び下水処理場の見学などを3回実施しました。

さらに、大切な水環境について、より一層理解と関心が深まるよう、上水道と下水道を一体として見学する下水道教室を1回実施しました。

<夏休み下水道教室実施結果>

流域	コース名	開催場所 (管理センター)	実施日	参加者数
相模川	上・下水道コース	四之宮	平成29年8月3日(木)	42人 (27人)
	下水道コース	柳島	平成29年8月5日(土)	43人 (48人)
酒匂川	下水道コース	扇町	平成29年8月18日(金)	20人 (29人)
	下水道コース	酒匂	平成29年8月20日(日)	40人 (一人)
計				145人 (104人)

(注) () は、前年度の実績数

(ウ) 「下水道サポーター」講座～小学校教員向け下水道教室～

小学校の教員の方々を対象に、汚れた水をきれいにする仕組みや汚れた水の判定、処理場の見学など、下水道について学んだり体験したりする講座に参加していただき、理解を深めていただくとともに、この講座では、授業の中で子供たちの理解と関心が高まるような情報や資料を提供しました。

<「下水道サポーター」講座実施結果>

開催場所 (管理センター)	実施日	参加者数
四之宮	平成29年8月1日(火)	3人

ウ 市町主催の環境イベントへの参加

流域関連市町が主催する環境等に関するイベントに参加し、来場者に下水道の果たす役割や仕組みなどを説明するとともに、顕微鏡で汚れた水をきれいにする微生物を観察していただき、環境に対して下水道が果たす役割について PR しました。

<市町環境イベント参加結果>

主 催	イベント名	開催日	公社ブース 来 場 者 数
平塚市	平塚市緑化まつり	4月29日～30日	1,567人
伊勢原市	いせはら環境展	5月13日	239人
相模原市	さがみはら環境まつり	6月18日	300人
南足柄市	環境フェア	6月24日 (6/21～24)	183人
茅ヶ崎市	ちがさき環境フェア	9月23日	532人
秦野市	秦野市市民の日	11月3日	452人
大井町	大井町環境展	11月12日	122人
寒川町	寒川町産業まつり	11月19日	700人
愛川町	環境フェスタ	11月19日	164人
松田町	まつだ産業まつり	11月26日	275人
厚木市	あつぎミニ環境フェア	3月3日	102人
合計 (7市4町)			4,636人

(注) 前年度は、6市4町で実施 合計4,147人

エ ホームページによる情報発信

汚れた水をきれいにする下水道の仕組みや施設の概要、地域の方々に利用していただける広場やテニスコートなど様々な情報を発信しました。

<主な項目>

- ▶下水道の維持管理
- ▶下水道のしくみ
- ▶お知らせ
- ▶イベント情報
- ▶公社のご案内
- ▶入札情報

(2) 下水道担当職員研修事業

県及び市町村の下水道事業を所管する担当職員を対象に、次の研修会を実施しました。

＜下水道担当職員研修会実施状況＞

研修会 コース名	開催年月日	対象者 (受講者数)	内容 (開催場所)
一般	平成 29 年 5 月 30 日	主に経験 5 年 未満の職員 (84 人)	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道法と関連法規 ・下水処理場の仕組みと水質管理 ・下水処理場の見学 (四之宮管理センター)
専門技術	平成 29 年 11 月 28 日	主に経験 5 年 以上の職員 (24 人)	<ul style="list-style-type: none"> ・栄処理区大面川第二雨水幹線下水道整備工事建設現場の視察 (横浜市栄区) ・横浜市風力発電所ハマウイングの視察 (横浜市神奈川区) ・恩廻公園調節池の視察 (川崎市麻生区)
管理者	平成 29 年 8 月 22 日	主に幹部職員 (47 人)	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道の価値 ・公社調査研究発表 (四之宮管理センター)

(3) 汚水・汚泥処理技術調査研究事業

職員がこれまで蓄積してきた豊富な経験や専門的な知識に基づき、維持管理上の技術的な課題やコストの削減などについて調査研究を行いました。

また、研究成果は、日々の維持管理に反映させるとともに、調査研究報告書にまとめ研究発表会で発表しました。

ア 調査研究実施概要

平成 29 年度は、次の 2 項目について調査研究を行いました。

(ア) 事業場の 1,4-ジオキサン水質検査実施対象範囲の検討について

実施所属	目的	結果
水質課	平成 24 年 5 月に水濁法や下水道法に規制項目として追加された 1,4-ジオキサンに関する排出実態調査で検出された 7 事業場のうち、使用届出が確認できたのはわずか 1 件であった。残りの 6 件は、使用の届出がなされていないことから、1,4-ジオキサンを使用していること自体が認識されていないと推測される。	<p>使用・排出実態について、聞き取り調査した結果、監視の留意点は以下のパターンに分類された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①使用届出があった化学工業は基準超過が確認されたが、その後、再発防止策が図られ、基準超過は確認されていない。 ②使用届出がなく基準超過が確認された廃棄物処理業は、受入れ時の分析体制が整っていないと、今後も

	<p>今回の調査は、平成 26 年度から継続した水質検査結果から、検出された事業場の使用・排出実態を業種毎に聞き取りし、水質検査の対象事業場を適正に選定できるよう検討する。</p> <p>また、PRTR 集計結果から、環境への排出量と移動量の推移を確認し、下水道への移動状況を把握する。</p>	<p>基準超過の可能性があるので、継続して監視が必要である。</p> <p>③使用届出は出ていないが低濃度で検出された繊維工業や学術・研究機関は、取り扱い薬品が少量であるため、基準値超過のリスクは低いと考えられた。</p> <p>また、PRTR 集計結果から、1,4-ジオキサンの廃棄物への移動量は、全体の 8 割以上を占めていた。さらに、下水道への移動量も年々減少していることが確認された。</p> <p>以上から、今回の調査を参考とすることで、下水道への影響を踏まえた、水質検査の対象事業場の絞りこみが可能となった。</p>
--	---	--

(イ) アンモニアセンサーを用いた送風量制御の最適化と電力削減について

実施所属	目的	結果
四之宮管理センター	<p>下水処理場において、電力消費割合が大きいのは水処理の送風機設備である。そこで、送風機設備の制御方法の一つであるアンモニアセンサーを用いた送風量制御について調査し、制御の最適化と電力削減を図る。</p>	<p>平成 27-28 年度の公益財団法人日本下水道新技術推進機構との共同研究により、アンモニアセンサーによる簡易的な送風量制御が水処理第 6 系列に実験的に導入され、電力削減効果が確認された。</p> <p>平成 29 度は通年運用を行い、各種運転因子についての検証を行った。その結果、夏季以外では 21-06 時に更なる風量削減の可能性があることがわかった。また、フィードバック制御における設置位置、管理値等の更なる検討が必要なことがわかった。</p> <p>今回の運用では年間約 100 万円の削減効果が見込まれた。</p>

イ 研究発表

(ア) 研究発表

平成 29 年度に行った研究発表は、次のとおりです。

<発表会：第 54 回下水道研究発表会>

主 催	公益社団法人日本下水道協会
実 施 日	平成 29 年 8 月 2 日
開 催 場 所	東京ビッグサイト
発表テーマ	活性炭交換時期の検討について

<発表会：第 20 回県土整備技術発表会>

主 催	神奈川県県土整備局
実 施 日	平成 30 年 1 月 12 日
開 催 場 所	横浜市開港記念会館 講堂 (横浜市中区)
発表テーマ	神奈川県流域下水道終末処理場の電力削減に関する共同研究

(イ) 調査研究報告書の作成・配布

公社内情報提供コーナーに備え置き、また、公社ホームページにも掲載しました。

<調査研究報告書> *電子データとして作成

名 称	調査研究報告書 (第 35 号)
掲 載 内 容	①神奈川県流域下水道終末処理場の電力削減に関する共同研究 ②浸出液排水設備の管理手法の見直しに関する検討 ③過給式流動炉の運用について ④寿町終末処理場の流域下水道編入に係る維持管理対応について (第 2 報)

<管理部門>

1 職員の状況

(平成30年3月31日現在)

組 織	長の氏名	構 成 職 員 数					
		事務	土木	機械	電気	化学	計
総 務 部 長	田代秀行					1	1
業 務 部 長	海野 淳			1			1
総 務 課 長	(田代秀行)	8					8
企 画 課 長	小柴義隆	2		1	1		4
業 務 課 長	(海野 淳)		1	1	1	1	4
水 質 課 長	川地知代子					7	7
四之宮管理センター所長	川島由美子		1	3	2	4	10
柳島管理センター所長	西村佳裕		1	5	5	3	14
酒匂管理センター所長	川原俊彦		1	1	1	3	6
酒匂管理センター 扇町駐在事務所長	渡辺俊一			1	1	2	4
合 計		10	4	13	11	21	59

(注) 構成職員には非常勤職員を除く。

2 役員及び評議員の状況

ア 役員数

(平成30年3月31日現在)

役 職 名	常 勤	非常勤	計
理 事 長	1	—	1
常 務 理 事	1	—	1
理 事	1	6	7
監 事	—	2	2
計	3	8	11

イ 評議員数

(平成30年3月31日現在)

役 職 名	常 勤	非常勤	計
評 議 員	—	9	9

ウ 役員一覧表

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

役 職 名	氏 名	常勤・非常勤の別	備 考
理 事 長	藤 井 良 一	常 勤	
常 務 理 事	木 下 幸 夫	〃	
理 事	田 代 秀 行	〃	
〃	沼 田 芳 基	非 常 勤	厚木市 都市整備部長
〃	久 保 暁 俊	〃	南足柄市 都市部長
〃	黒 木 久	〃	寒川町 都市建設部長
〃	武 井 良 平	〃	中井町 環境上下水道課長
〃	依 田 貞 彦	〃	松田町 環境上下水道課長
〃	中 村 武 司	〃	愛川町 建設部長
監 事	福 井 哲 也	非 常 勤	秦野市 上下水道局 参事兼経営総務課長
〃	猪 鼻 久 義	〃	公認会計士

エ 評議員一覧表

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

役 職 名	氏 名	常勤・非常勤の別	備 考
評 議 員	斉 藤 進	非 常 勤	産業能率大学 情報マネジメント学部教授
〃	伊 與 亨	〃	北里大学 医療衛生学部講師、 博士、技術士(衛生工学部門)
〃	河 西 龍 二	〃	相模原市 都市建設局 下水道部長
〃	古 矢 守	〃	平塚市 土木部 下水道経営課長
〃	若 林 紀 夫	〃	小田原市 下水道部長
〃	塩 崎 威	〃	茅ヶ崎市 下水道河川部長
〃	福 家 忠 秀	〃	神奈川県 湘南地域県政総合 センター副所長(兼)総務部長
〃	仲 谷 政二郎	〃	神奈川県 県西地域県政総合 センター副所長(兼)総務部長
〃	近 藤 充 志	〃	神奈川県 県土整備局 河川下水道部 下水道課長

3 理事会開催状況

<第1回理事会>

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する同法第96条及び公益財団法人神奈川県下水道公社定款第35条第3項による理事会決議の省略

理事会の決議の内容

「評議員会の決議の省略についての承認の件」

「評議員会の決議事項（理事の選任の件）」

理事会の決議があったものとみなされた日

平成29年4月12日（水）

<第2回理事会>

日 時：平成29年6月8日（木）

場 所：公益財団法人神奈川県下水道公社（平塚市）

出席者数：理事5人 監事1人

議 事：（第1号議案）平成28年度事業報告書及び決算報告書
（第2号議案）評議員会の招集の件

報告事項：(1)平成28年度第3回理事会以降の理事長及び常務理事の職務執行状況報告

(2)専決処分事項の報告（規程の一部改正）

(3)第5期経営改善計画 平成28年度実績状況報告書

<第3回理事会>

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する同法第96条及び公益財団法人神奈川県下水道公社定款第35条第3項による理事会決議の省略

理事会の決議の内容

「評議員会の決議の省略についての承認の件」

「評議員会の決議事項（評議員の選任の件、理事の選任の件）」

理事会の決議があったものとみなされた日

平成30年3月5日（月）

<第4回理事会>

日 時：平成30年3月26日（月）

場 所：公益財団法人神奈川県下水道公社（平塚市）

出席者数：理事8人 監事2人

- 議 事 : (第 1 号議案) 平成 30 年度事業計画書
(第 2 号議案) 平成 30 年度収支予算書
(第 3 号議案) 公益財団法人神奈川県下水道公社職員給与規程の一部を改正する規程
(第 4 号議案) 公益財団法人神奈川県下水道公社職員退職手当規程及び職員退職手当規程の一部を改正する規程の一部を改正する規程
(第 5 号議案) 常務理事の選定の件
(第 6 号議案) 事務局長の選任の件
(第 7 号議案) 評議員会の決議の省略の件

- 報告事項 : (1)平成 29 年度第 2 回理事会以降の理事長及び常務理事の職務執行状況報告
(2)専決処分事項の報告 (平成 29 年度収支補正予算書)

4 評議員会開催状況

<第1回評議員会>

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条第1項及び公益財団法人神奈川県下水道公社評議員会運営規則第9条第3項による評議員会決議の省略

評議員会の決議の内容

「理事の選任の件」

評議員会の決議があったものとみなされた日

平成29年4月25日（火）

<第2回評議員会>

日 時：平成29年6月23日（金）

場 所：公益財団法人神奈川県下水道公社（平塚市）

出席者数：評議員5人 理事2人 監事1人

議 事：（第1号議案）平成28年度計算書類の承認の件

（第2号議案）評議員の選任の件

（第3号議案）理事の選任の件

報告事項：(1)平成28年度事業報告書

(2)平成28年度収支補正予算書

(3)平成29年度事業計画書及び収支予算書

(4)第5期経営改善計画 平成28年度実績状況報告書

<第3回評議員会>

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条第1項及び公益財団法人神奈川県下水道公社評議員会運営規則第9条第3項による評議員会決議の省略

評議員会の決議の内容

「評議員の選任の件」

「理事の選任の件」

評議員会の決議があったものとみなされた日

平成30年3月15日（木）

5 情報公開

当社は、四之宮管理センターに「情報提供コーナー」を設置し、以下に記載する各種公社情報について県民の自由閲覧に供しています。

<各種の公社情報（主な提供資料）>

- ・定款
- ・役員及び評議員名簿

- ・役員及び職員名簿
- ・事業計画書
- ・収支予算書
- ・事業報告書
- ・貸借対照表
- ・正味財産増減計算書
- ・財産目録
- ・収支計算書
- ・監査報告書
- ・役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程
- ・経営改善計画
- ・各種パンフレット類
- ・その他下水道に関する情報誌 等

事業報告の附属明細書

公益財団法人神奈川県下水道公社定款第10条第1項第2号に規定する事業報告の内容を補足する重要事項を記載すべき「事業報告の附属明細書」は、本事業報告に事業内容を細部にわたり記載しているため作成しておりません。